

神秘十字教会

2017年 総括 9/30 創造日・神秘（再臨）

第7証 【神秘十字教 無教会】

牧師（神師）・伝道師 天池治彦

2017年の教会総括。2017年も世は様々な問題で毎日を過ごし、解決する道が与えられている。

この国内では、加計学園と森友学園。それらの問題に関係する関係者は政財界全てに及ぼしている。民間企業から、教育現場までもそうだ。それは全て利権が絡まり、我が師又吉イエス先生が伝道している通り、利益至上主義の根本たる問題点であろう。

他にも日本国内では、岐阜県の産廃問題。40年間もひた隠しし、それがつい最近の気象変更大雨で全て土砂崩れとして流れ去り、中央道通行止め、通行者怪我人多数、中央道下の民家町に大量に廃棄物が押し寄せた。それに井戸水と地下水にも多大な影響を及ぼしている。

国内では、異常気象。土砂災害や大雨による天変地異。東北の大震災から日本全国・世界へいつどこで巨大地震が起きてもいい時代と相成った。海外でも巨大地震が頻繁に起きている事も現実である。

国外では、外交問題。北朝鮮問題を筆頭に中国の日本領土防衛、ロシアの北方領土共同経済特区問題、韓国慰安婦問題、アメリカトランプ大統領の軍事費増大・防衛問題等多くあるし、テロ対策も東京オリンピックに際して必要不可欠である。

それに外国人の違法滞在が多くなり、麻薬や大麻等が数多く、日本国に入っており、民族を狂わせている現実もあろう。

どの問題も重要であるが、日本人家族の崩壊問題が第一。つまり、浮気・不倫が多くあることで、家族が離婚し、子供がばらばらとなり、性病が蔓延。つまり、梅毒の増加もその一つ。日本人としての品格や威厳・何故この世に生まれて来たのかを理解できず、己の

欲望だけに動く男女が増加している平和ボケ社会が今の問題点の一つであろう。

全て、我が師又吉イエス先生が過去から今まで伝道している通りとなっている。現実社会の今がその時なのである。

だから、我がこの世において、主より奉仕（仕事）と共に聖職者として伝道を遣わされ、今この世に対して証をしている。それは書籍から奉仕、農、生きた化石、地域伝道、それに学園問題に対してもである。

我には忍びの血が流れており、闇と光の同時に証をする。そして、日本人独自の無教会主義であり、偶像物は不要也。祈りは、心とあらゆる場所で行わなければならない。偶像の教会・寺・神社・各宗教施設は不要。全ては、戦後の青空教室と同じように、青空礼拝が必要であり、聖書である通り、父とイエスキリスト・聖霊も教会での祈りは全くない。

偶像を決めて人間が勝手な組織を創った為に、利益至上主義に陥る。それは、各宗教団体でも言える事。派閥が生まれ、醜い争いと利権主義となる。そこに、主へ仕える祈りなどは全くない。己の欲望と利益だけが悪霊の祈りとなるのである。

我は偶像を全くいらず、青空礼拝。そこにこの世に神秘がある。神秘とは、人間やこの世にいる動植物が触れそうで、触れえない証。その証があるこそ、秩序が与えられ、皆が真剣に心から祈りを捧げ、純の心となり明日へ生活の糧が与えられるのである。

全ては、神秘の中にある十字の教えである。それが神秘十字教。

神秘十字教はそれだけでは非ず。もっと奥が深く深く深し。今の表現は表の皮でしかないのである。

日本人は無宗教とかいうが、そうではなく、子供の頃より自然を崇拝しており、行事でもお盆・正月や、神社参拝・お寺へお経等、幼児教育から既に自然と学び当たり前に暮らしている。決して無宗教ではない民族が日本人。

それが、日本人があらゆる宗教を差別せずに受け入れ、認めている。全ては自然への感謝と農の繋がり、米文化等もあろう。

我は、つくば市で新たに創立された農業者大学校において、それを学び、大学校卒業卒論（修士論文）として基督教と農業の繋がりに関わり、今後の導きをまとめ、認めら

れて職員方々へ発表した。そしてそれが 9/30 出版となる「我が母校Ⅳ」となるのである。

加計学園問題も大切であるが、我は森友学園の方が社会問題であると考えておる。その為、命と行動を今後も行っていく。

偶像礼拝ではない日本人が導き作り出した無教会と我が神秘十字教が今後の世への伝道を証して行く事を主と共に歩み、今を生きる事となろう。

伝道とは、苦難を乗り越え、明日へ繋げ、述べ伝え、道を導く者。

地方より、中央を見つめ、地方より伝道し意見を述べる。それがカントリージェントルマンなのである。

「熱き神秘（青春）の伝説」が今の証であろう。